ボーリング柱状図

調　査　名　福岡高速道路地質調査業務（その1）

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No．24	調査位置	福岡市東区香椎浜1丁目～香椎浜ふ頭1丁目地内					北　緯	33° 39’ 35.4998”
発注機関	福岡北九州高速道路公社			調査期間	平成 25年 2月 5日 ～ 25年 2月 19日			東　経	130° 25’ 39.1939”
調査業者名	株式会社九州地質コンサルタント 電話（092-586-0262）	主任技師	柏原　昇	現場管理人	佐藤正之	コア鑑定者	佐藤正之	ボーリング責任者	岩崎一郎
孔口標高	3.53m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	
総掘進長	27.44m					エンジン	NFD-80	ポンプ	GP-5
						試錐機	YBM-05DA	ハンマー落下用具	半自動モンケン

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	2.98	0.55	0.55		礫混り砂	黄褐灰			真砂土による盛土。細～中粒砂主体 φ2～30mm位の礫混入する
1	2.18	0.80	1.35		砂礫	白～褐灰			1.0m付近までシャモット及び砕石からなる。φ5～40mm位の礫主体。以深は粘土混り砂礫
	2.03	0.15	1.50						
2					砂混り粘土	青褐灰			頁岩・砂岩の風化土と粘土の混合土で不均質
3	-0.07	2.10	3.60		玉石混り砂礫	黄褐～灰			頁岩・砂岩の風化土砂主体の埋土 径80～150mm位のコンクリート塊混入する。鉄片、鉄筋を多量混入する
4	-0.92	0.85	4.45		礫混り砂	暗灰			凌渫土による埋土で、中粒～粗粒砂主体 貝殻片及びφ5～40mm位の礫混入する
5					礫混り砂	暗灰			旧海底堆積物とも思われ、貝殻片混入する 石英質の粗中砂主体 6.7m付近より中細砂多く、若干シルト分混入する φ5～30mm位の礫を含み、局部的に礫質砂状を呈する 6.7m付近、シルトの極薄層を挟む 全体的に細粒土分少なく崩壊性の砂
6									
7	-4.22	3.30	7.75						
8					粘土	暗灰			海成粘土で含水多く軟らかい 貝殻細片多く含む 中細砂を少量混入する
9	-5.92	1.70	9.45						
	-6.37	0.45	9.90		固結粘土	淡青灰			含水少なく固結化し硬い
10	-6.72	0.35	10.25		粘土質砂	暗青灰			細砂主体で粘土分多く混入し不均質
	-7.07	0.35	10.60		礫混り砂	淡灰			上部は粗中砂主体で、φ2～15mm位の礫混入。下部、中粒砂主体となる
11	-8.07	1.00	11.60		礫混り粘土質砂	淡青灰			結晶片岩の二次堆積土 φ2～20mm位の片岩礫・石英礫混入する。粘土分多く分級淘汰が悪い
12									
13									
14					強風化片岩	淡青灰～黄褐灰			風化著しく進行し脆弱化する 14.5m付近まで泥質化が進み、岩組織は僅かに残る程度で、コアは指圧にて容易に潰れる硬さ 以深は岩組織は比較的明瞭であるが、全体的に土砂化している 16.9m付近より所々硬質部が残り、3cm程度の短棒状コアあるいは岩片状コアで採取される
15									
16									
17									
18									
19	-15.47	7.40	19.00						
20					風化片岩	黄褐灰～暗褐灰			20m付近まで風化進行し、やや土砂化が進んでいる 20m以深は比較的硬質で柱状コアで採取されるが、片理に沿った亀裂が多く、岩片状～短柱状コアとなる 片理面傾斜角45° 程度
21	-17.42	1.95	20.95		強風化片岩	暗褐灰			強風化し土砂化が進み、コアは砕けて礫混り砂状を呈する
	-18.07	0.65	21.60						
22									
23									
24					風化片岩	褐灰～暗褐灰			比較的硬質で柱状コアとして採取されるが、片理面に沿った亀裂が多く、岩片状～短棒状コアとなる部分が多い 片理面傾斜角45° 程度 24m付近まではコアは手で折れる程度 以深はハンマーの軽打～中打で割れる硬さ 所々、土砂化が進んだ部分を薄層で挟んでいる
25									
26									
27	-23.91	5.84	27.44						
28									

孔内水位(m)／測定月日：2/7 2.70

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
2.15	2	10	11	23／30	23
2.45					
3.15	6	8	10	24／30	24
3.45					
4.15	1	2	1	4／30	4
4.45					
5.15	2	2	2	6／30	6
5.45					
6.15	4	3	2	9／30	9
6.45					
7.15	1	1	2	4／30	4
7.45					
8.15	1／15	1／15		2／30	2
8.45					
9.15	1／20	1		2／30	2
9.45					
10.15	4	14	22	40／30	40
10.45					
11.15	4	3	4	11／30	11
11.45					
12.15	3	3	4	10／30	10
12.45					
13.15	3	4	5	12／30	12
13.45					
14.15	3	4	5	12／30	12
14.45					
15.15	11	16	17	44／30	44
15.45					
16.15	9	8	9	26／30	26
16.45					
17.15	6	6	7	19／30	19
17.45					
18.15	8	9	14	31／30	31
18.45					
19.15	11	17	22／9	50／29	52
19.44					
20.15	25	25／7		50／17	88
20.32					
21.15	7	9	13	29／30	29
21.45					
22.15	46	4／1		50／11	136
22.26					
23.15	50／8			50／8	188
23.23					
24.05	50／5			50／5	300
24.10					
25.05	50／8			50／8	188
25.13					
26.05	50／6			50／6	250
26.11					
27.15	9	11	30／9	50／29	52
27.44					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
4.50	孔内水平載荷試験
5.00	
6.00	現場透水試験

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
4.15				
4.45	P24-1		密度含水粒度	2/5
5.15				
5.45	P24-2		密度含水粒度	2/6 2/7
8.00				
8.80	TW24-1	①	密度含水粒度液性塑性一軸	2/12
				2/13
				2/14
				2/15

・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。